

APファイバー (AP-Fiber) とは?!

アダン鉱山中央研究所と松下電器産業との共同開発によって誕生した特許取得繊維。

アダン鉱山中央研究所の「A」と松下電器産業（パナソニック）の「P」をとって、AP-FIBERと名付けられました。

トルマリンは、こする、叩く、押す、熱する等、外部から何らかのエネルギーを与えないとマイナスイオンを発生しません。

ところが、APファイバーは外部から全くエネルギーを与えられなくても、マイナスイオンを常時発生させるのです。

その特許の基本は、トルマリンと特殊鉱石の粉体を混合してマイナスイオンを発生する特殊粉体を生成した点にあります。

この特殊粉体は、外部から全くエネルギーを与えられなくても、マイナスイオンを常時発生させます。

*【特許番号】特許第3306790号

【発明の名称】マイナスイオンを発生する粉体、樹脂、繊維、塗料、無機基材、紙及び布、マイナスイオン発生粉体の製造方法

【特許保持者】松下電器産業株式会社

【特許保持者】松永 典久（アダン鉱山中央研究所）

光電子[®] 繊維

光電子[®] 繊維とは?

純度の高い遠赤外線セラミックスと、特殊なファインセラミックスを練り込んだ繊維を使用して、人間の持つ体温を吸収し、遠赤エネルギーに変換・増幅させ、人体へ再び放射しています。生地に練り込んでいるので、効果は半永久的に持続し、エネルギー源は体温を利用しているため、安心・安全です。

光電子[®] 繊維の遠赤外線がもたらす2つの効果

●冷えから体を守る

「冷え」は血管が収縮し、血液の循環が悪くなることで起ります。冷え性やむくみやすい人は、血液やリンパの流れが悪くなり、老廃物が体内に残りやすくなります。光電子[®] 繊維は、体温エネルギーを利用して遠赤エネルギーに変換し、人体に放射するため、体を心から温め高い保温力を維持します。

●春夏はムシの抑制、秋冬はポカポカ保温

光電子[®] 繊維の遠赤外線は人体の水分子を細かくする作用があります。そのため、汗の蒸発スピードを速め、ムシを抑えることができ、着用時の快適さを保ちます。また、遠赤エネルギーには蓄熱作用もあるため、脱いだあとも暖かさが持続します。

